



## 平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月13日

上場会社名 株式会社タイセイ 上場取引所 福証Q-Board  
 コード番号 3359 URL <http://www.taisei-wellnet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 成一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 江藤 衆児 (TEL) 0972 (85) 0117  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月16日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年9月期第3四半期の業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	1,727	4.5	64	70.4	86	78.8	50	79.5
21年9月期第3四半期	1,652	10.3	38	△60.5	48	△56.3	27	△56.9

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	3,443	12	3,374	80
21年9月期第3四半期	1,903	16	1,862	20

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年9月期第3四半期	1,692	732	732	43.3	50,250	76		
21年9月期	1,593	682	682	42.8	46,807	64		

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 732百万円 21年9月期 682百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
21年9月期	—	0	00	—	0	00	
22年9月期	—	0	00	—			
22年9月期(予想)				500	00	500	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成22年9月期の業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,389	10.0	58	37.8	60	14.0	34	13.8	2,354	67

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	14,763株	21年9月期	14,763株
22年9月期3Q	191株	21年9月期	191株
22年9月期3Q	14,572株	21年9月期3Q	14,686株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が含まれており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(第3四半期累計期間) .....	7
(第3四半期会計期間) .....	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 補足情報 .....	10
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

最近のわが国経済は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつありますが、依然として失業率が高水準にあり、緩やかなデフレ状況も続いており、依然として厳しい状況にあります。企業収益は、改善してきており、設備の過剰感はあるものの投資は下げ止まっており、持ち直しに向かうことが期待されます。ただし、中小企業を中心に先行きについては慎重な見方が多い状況です。

このような状況の中、当社は、新たに月刊チラシ「Cotta manthly」(コッタマンスリー)を発行いたしました。これは、新商品情報や、キャンペーンの案内、お勧め商品等を毎月上得意客や見込み客に送る事で、常にお客様とのつながりを持ち、新たな情報をお届けするものです。さらに、インターネット上ではお客様が作られた自慢のレシピを紹介できるようにレシピ投稿サイト「Corecle」(コレクル)を開発いたしました。こうした取組みと従来からの販促活動を積極的に進めた結果、当第3四半期の新規顧客獲得数は3,537件(前年同期3,177件)、受注件数については、47,222件(前年同期42,538件)と主に個人客の利用増加により増えており、顧客数の伸びや、受注件数の伸びとともに、売上高についても堅調に推移していると判断しております。

以上の結果、当第3四半期会計期間の業績については、売上高560,608千円(前年同期比2.2%増)、営業利益13,296千円(前年同期比15.7%減)、経常利益20,413千円(14.1%増)、四半期純利益11,974千円(前年同期比14.4%増)となりました。また、当第3四半期累計期間については、売上高1,727,527千円(前年同期比4.5%増)、営業利益64,826千円(前年同期比70.4%増)、経常利益86,145千円(前年同期比78.8%増)、四半期累計期間純利益50,173千円(前年同期比79.5%増)となりました。なお、当第3四半期会計期間におきまして、菓子・パン類の食材加工販売を主な事業とする株式会社プティパを設立(当社出資比率100%)しております。設立間もないことから、当第3四半期会計期間における売上高の計上はありませんが、地域の卸売業者や食材を取扱う業者及び専門学校等向けの需要に対応できることで、業績の向上に努めてまいります。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第3四半期末における流動資産残高は、850,351千円(前事業年度末残高839,158千円)と前事業年度末残高と比較し、11,193千円増加いたしました。その主な原因は、有価証券の取得(50,000千円)、商品の増加(209,775千円から251,080千円へ41,304千円増加)および未収入金の増加(73,841千円から101,751千円へ27,910千円増加)の一方、現金及び預金が減少(448,218千円から350,893千円へ97,324千円減少)したことによるものであります。なお、有価証券の取得は社債の購入であり、商品の増加は新商品の投入等に伴うものであり、未収入金の増加は代金回収方法の一部変更によるものであります。また現金及び預金の減少は主に子会社設立のための出資および社債の購入によるものであります。

##### (固定資産)

当第3四半期末における固定資産残高は、841,874千円(前事業年度末残高753,990千円)であり、前事業年度末残高と比較し、87,884千円増加いたしました。その主な原因は、子会社設立に伴う子会社株式の取得(50,000千円)およびのれんの取得(28,000千円)などによるものであります。

##### (流動負債)

当第3四半期末における流動負債残高は、257,680千円(前事業年度末残高231,719千円)であり、前事業年度末残高と比較し、25,961千円増加いたしました。その主な原因は、未払法人税等の増加(14,187千円から23,064千円へ8,877千円増加)などによるものであります。

##### (固定負債)

当第3四半期末における固定負債残高は、702,291千円(前事業年度末残高679,347千円)であり、前事業年度末残高と比較し、22,943千円増加いたしました。その主な原因は、長期借入金の減少(266,175千円から246,096千円へ20,079千円減少)の一方、リース債務の増加(13,172千円から37,295千円へ24,122千円増加)およびのれんの取得による長期未払金の計上(18,900千円)によるものであります。

##### (株主資本)

当第3四半期末における株主資本残高は、732,254千円(前事業年度末残高682,080千円)であり、前事業年度末残高と比較し、50,173千円増加いたしました。その原因は、利益剰余金の増加(165,827千円から216,000千円へ50,173千円増加)によるものであります。

(2) キャッシュフローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、173,893千円となり、前事業年度末残高と比較し、46,224千円減少しました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

税引前四半期純利益85,971千円及び減価償却費37,246千円の計上などによる資金の増加に対し、売上高の増加に伴う売上債権の増加13,858千円、たな卸資産の増加39,422千円、法人税等の支払額25,425千円などによる資金の減少により、営業活動により増加した資金は52,792千円(前年同期は8,651千円の使用)となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

定期預金の払戻による収入131,200千円などによる資金の増加に対し、定期預金の預入による支出80,100千円、有価証券の取得による支出50,000千円などによる資金の減少により、投資活動に使用した資金は69,668千円(前年同期は232,777千円の使用)となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

長期借入金の返済による支出20,079千円、長期未払金の返済による支出6,300千円などにより、財務活動により使用した資金は29,348千円(前年同期は50,882千円の使用)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成21年11月18日に発表いたしました業績予想についての変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### ・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ・たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ・固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	350,893	448,218
受取手形及び売掛金	79,087	89,198
有価証券	50,000	—
商品	251,080	209,775
未収入金	101,751	73,841
その他	19,038	19,934
貸倒引当金	△1,500	△1,810
流動資産合計	850,351	839,158
固定資産		
有形固定資産		
建物	499,487	499,127
減価償却累計額	△78,084	△62,457
建物(純額)	421,402	436,669
土地	206,444	206,444
リース資産	45,214	15,500
減価償却累計額	△4,155	△1,107
リース資産(純額)	41,058	14,392
その他	45,008	44,614
減価償却累計額	△29,742	△25,117
その他(純額)	15,265	19,496
有形固定資産合計	684,172	677,003
無形固定資産	87,683	62,762
投資その他の資産	70,018	14,223
固定資産合計	841,874	753,990
資産合計	1,692,225	1,593,148
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	114,773	116,638
1年内返済予定の長期借入金	26,772	26,772
リース債務	6,403	2,151
未払法人税等	23,064	14,187
賞与引当金	2,640	10,040
ポイント引当金	17,584	13,184
その他	66,442	48,746
流動負債合計	257,680	231,719
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	246,096	266,175
リース債務	37,295	13,172
長期未払金	18,900	—
固定負債合計	702,291	679,347
負債合計	959,971	911,067

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	281,875	281,875
資本剰余金	241,234	241,234
利益剰余金	216,000	165,827
自己株式	△6,857	△6,857
株主資本合計	732,254	682,080
純資産合計	732,254	682,080
負債純資産合計	1,692,225	1,593,148



(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,652,537	1,727,527
売上原価	1,076,659	1,135,331
売上総利益	575,877	592,196
販売費及び一般管理費	537,841	527,369
営業利益	38,036	64,826
営業外収益		
受取利息及び配当金	600	595
協賛金収入	18,324	25,463
その他	1,443	5,294
営業外収益合計	20,368	31,352
営業外費用		
支払利息	9,060	9,136
その他	1,175	897
営業外費用合計	10,235	10,034
経常利益	48,169	86,145
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	216
特別利益合計	—	216
特別損失		
固定資産除却損	—	390
特別損失合計	—	390
税引前四半期純利益	48,169	85,971
法人税、住民税及び事業税	18,533	35,140
法人税等調整額	1,686	658
法人税等合計	20,219	35,798
四半期純利益	27,949	50,173

(第3四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	548,502	560,608
売上原価	355,061	372,427
売上総利益	193,440	188,180
販売費及び一般管理費	177,660	174,884
営業利益	15,780	13,296
営業外収益		
受取利息及び配当金	144	258
協賛金収入	4,930	5,753
違約金収入	—	3,358
その他	457	1,151
営業外収益合計	5,533	10,521
営業外費用		
支払利息	3,071	3,104
その他	356	299
営業外費用合計	3,427	3,404
経常利益	17,886	20,413
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	216
特別利益合計	—	216
税引前四半期純利益	17,886	20,629
法人税、住民税及び事業税	4,699	5,014
法人税等調整額	2,723	3,641
法人税等合計	7,423	8,655
四半期純利益	10,463	11,974

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	48,169	85,971
減価償却費	33,783	37,246
のれん償却額	—	2,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,660	△7,400
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△70	△310
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	4,115	4,399
受取利息及び受取配当金	△600	△595
支払利息	9,060	9,136
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,451	△13,858
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△45,683	△39,422
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,141	△1,865
その他	△16,597	11,204
小計	24,205	86,507
利息及び配当金の受取額	586	341
利息の支払額	△8,576	△8,631
法人税等の支払額	△24,867	△25,425
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,651	52,792
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△227,900	△80,100
定期預金の払戻による収入	98,313	131,200
有価証券の取得による支出	—	△50,000
投資有価証券の取得による支出	—	△2,000
子会社株式の取得による支出	—	△50,000
有形固定資産の取得による支出	△80,299	△4,121
無形固定資産の取得による支出	△18,117	△9,890
その他	△4,774	△4,756
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232,777	△69,668
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△20,079	△20,079
社債の償還による支出	△10,000	—
長期未払金の返済による支出	—	△6,300
自己株式の取得による支出	△5,861	—
配当金の支払額	△14,419	△9
その他	△522	△2,959
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,882	△29,348
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△292,311	△46,224
現金及び現金同等物の期首残高	503,760	220,118
現金及び現金同等物の四半期末残高	211,449	173,893

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

該当事項はありません。

## (2) 仕入実績

当第3四半期累計期間の商品仕入実績を取扱商品別に示すと、次のとおりであります。

取扱商品別	当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)	前年同期比 (%)
鮮度保持剤 (千円)	137,232	100.4
菓子・パン包装資材等 (千円)	915,443	107.8
弁当容器資材等 (千円)	127,796	94.8
合計 (千円)	1,180,472	105.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績を取扱商品別に示すと、次のとおりであります。

取扱商品別	当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)	前年同期比 (%)
鮮度保持剤 (千円)	245,409	95.2
菓子・パン包装資材等 (千円)	1,312,714	119.8
弁当容器資材等 (千円)	160,708	55.4
受取手数料 (千円)	8,695	95.7
合計 (千円)	1,727,527	104.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。